

# ELECTRONIC MAIL REPEATING SYSTEM

Publication number: JP11163925

Publication date: 1999-06-18

Inventor: MIYATA MASAYORI

Applicant: EIPEKKUSU KK

Classification:

- international: G06F13/00; H04L12/54; H04L12/58; H04L12/66;  
H04M3/00; H04M15/00; G06F13/00; H04L12/54;  
H04L12/58; H04L12/66; H04M3/00; H04M15/00; (IPC1-  
7): H04L12/54; G06F13/00; H04L12/58; H04L12/66;  
H04M3/00; H04M15/00

- European:

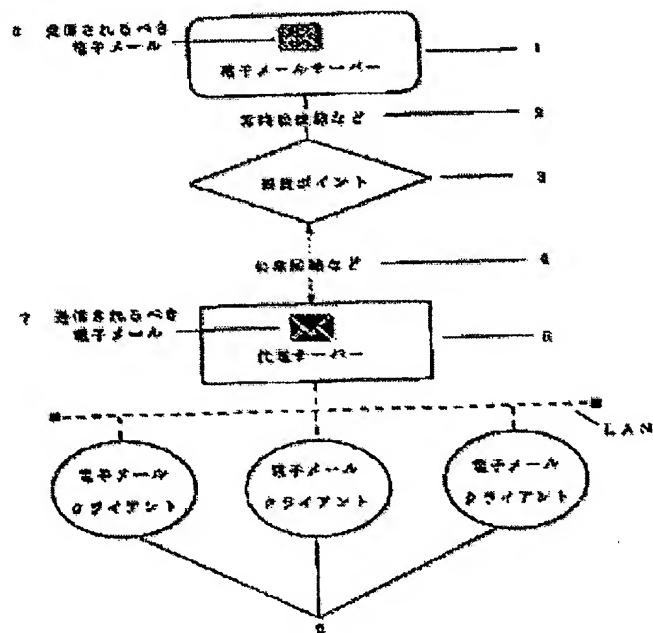
Application number: JP19970364266 19971128

Priority number(s): JP19970364266 19971128

Report a data error here

## Abstract of JP11163925

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To reduce the number of dialing as well as call tariffs by dialing in accordance with a request of a client and performing by a single dial a transmission and reception of electronic mails of plural clients, instead of repeating connection and disconnection every time there is a request in the conventional system. **SOLUTION:** A substitute server 5 receives an electronic mail 8 to be received of a user registered in advance in an electronic mail server 1 or transmits an electronic mail 7 to be transmitted stored in the substitute sever 5 by dialing up through a public line 4 or the like every time a set specified time or condition is met to allow connection to a normal connecting line 2 or the like.



(19)日本国特許庁 (J P) (12) 公開特許公報 (A) (11)特許出願公開番号  
特開平11-163925  
(43)公開日 平成11年(1999) 0月18日

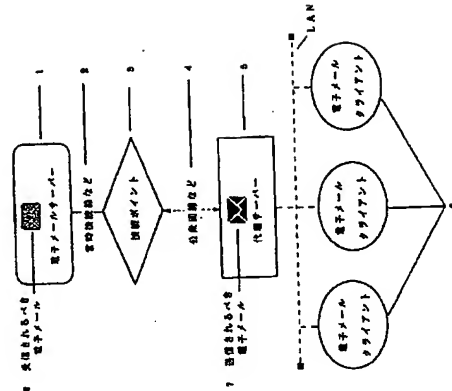
(5)IntCl <sup>6</sup>		識別記号	P I
H 0 4 L	12/54	H 0 4 L	11/20
G 0 6 F	12/58	G 0 6 F	13/00
H 0 4 L	12/66	H 0 4 M	3/00
			15/00
			Z

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 4 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号	特願平9-384268	(71)出願人	397073706 株式会社エイベックス
(22)出願日	平成9年(1997)11月28日	(72)発明者	徳島県徳島市川内町穂島113本田ビル3F 宮田 正順 徳島県徳島市川内町穂島113本田ビル3F 株式会社エイベックス社内

(54)【発明の名称】 電子メールを中継するシステム

(57)【要約】  
【目的】 クライアントの要求に応じてダイヤルし、要求があるごとに接続と切断を繰り返していた電子メールの送受信を、1回のダイヤルで多数のクライアントの回数を減らし、電話通話料金の削減につなげる。  
【構成】 代理サーバー5が、設定した一定時間や条件を満たすごとに公衆回線など4を通じてダイヤルアップし、常時接続線など2に接続することで、電子メールサーバ1にあるあらかじめ登録しておいたユーザの受信されるべき電子メール8を受信し、あるいは、代理サーバ5-5内にため込まれた送信されるべき電子メール7を送信する。



【特許請求の範囲】  
【請求項1】 電子メールサーバと常時接続している電子メールクライアントが、設定した一定時間や条件を満たしたときに、公衆回線などをダイヤルアップし電子メールサーバと接続し、電子メールを一度にまとめて送受信できる代理サーバ  
【発明の詳細な説明】  
【0001】  
【産業上の利用分野】 本発明は、電気通信技術に属するもので、電子メールサーバと常時接続していない電子メールクライアントにおける電子メールサーバからの電子メールの送受信を可能にした代理サーバに関するものである。

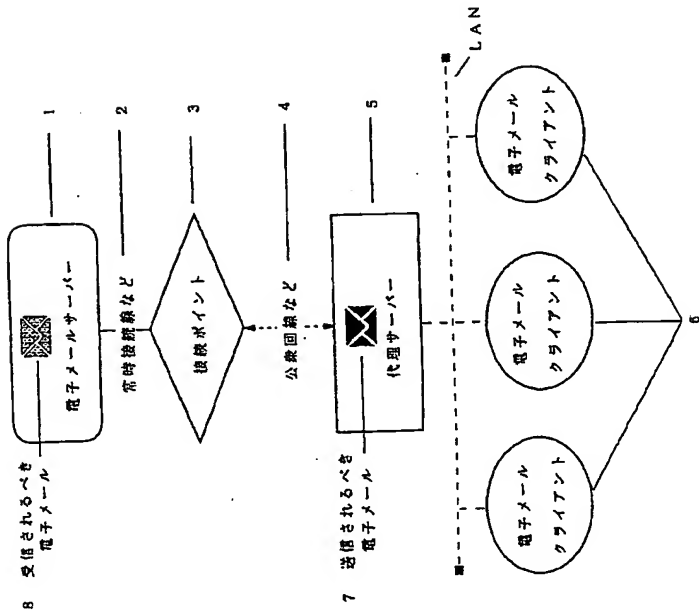
【0002】  
【発明が解決しようとする課題】 従来、電子メールは、直接クライアントのPCに公衆回線などを接続しダイヤルアップし電子メールサーバに接続し電子メールの送受信を行ったり、あるいは、LAN内の代理サーバ(Proxy Server)に接続し、代理サーバがダイヤルアップし電子メールサーバに接続し、代理サーバを通じて電子メールの送受信を行っていた。そのため、クライアントの要求に応じてダイヤルするので、要求があるごとに接続と切断を繰り返し、一度にまとめて送信できないといった具合に無駄があるという問題点を有していた。

【0003】  
【課題を解決するための手段】 本発明は、代理サーバが、設定した一定時間や条件を満たすごとに公衆回線などをダイヤルアップすることにより、常時接続線などを介して電子メールサーバに接続し、あらかじめ登録しておいたユーザの受信されるべき電子メールを受信し、あるいは、代理サーバ内にため込まれた送信されるべき電子メールを送信するものである。この手段にお

いては、クライアントは代理サーバにため込まれた受信されるべき電子メールを受信し、あるいは、代理サーバに対して送信されるべき電子メールを送信する。  
【0004】  
【発明の効果】 このようにすれば、一回のダイヤルで多数のクライアントの電子メールの送受信を行うことができるため、ダイヤルの回数を減らすことができる。ひいては、電話通話料金の削減につながる。  
【図面の簡単な説明】  
【図1】 電子メールサーバから電子メールクライアントまでの、代理サーバを介しての電子メールの経路を示した接続面図である。  
【図2】 電子メールクライアントから代理サーバまでの、送信されるべき電子メールの経路を示した接続面図である。  
【図3】 代理サーバを介して電子メールサーバまでの、送信されるべき電子メールの経路を示した接続面図である。  
【図4】 電子メールサーバから代理サーバまでの、受信されるべき電子メールの経路を示した接続面図である。  
【図5】 代理サーバを介して電子メールクライアントまでの、送信されるべき電子メールの経路を示した接続面図である。  
【符号の説明】  
1 電子メールサーバ  
2 常時接続線など  
3 接続ポイント  
4 公衆回線など  
5 代理サーバ  
6 電子メールクライアント  
7 送信されるべき電子メール  
8 受信されるべき電子メール

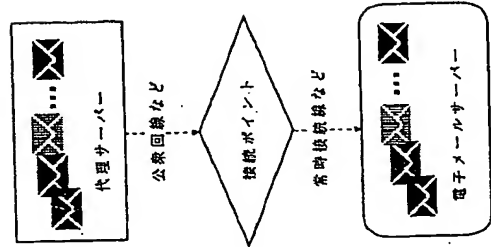
(3)

【図1】

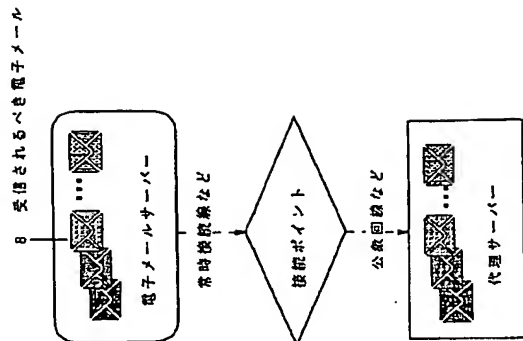


(4)

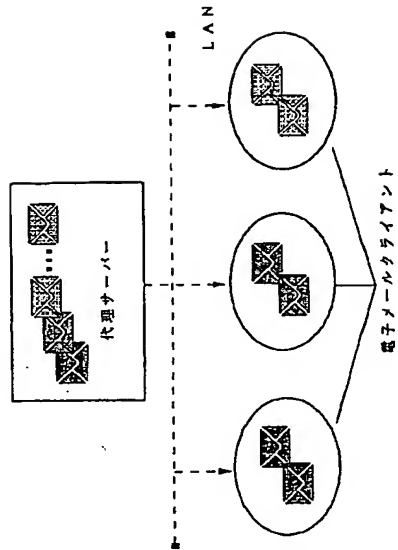
【図3】



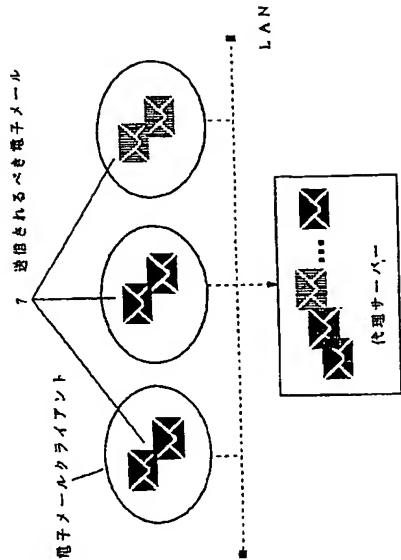
【図4】



【図5】



【図2】



フロントページの続き。

(51) Int. Cl.<sup>6</sup>

H04M 3/00

15/00

識別記号

F1

H04L 11/20

B